

平成30年1月15日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 増 崎 俊 宏



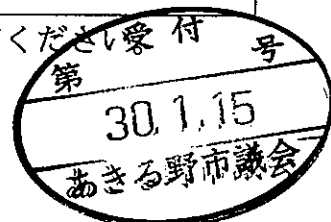
会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成29年12月15日（金）15:00～17:00 平成 年 月 日（ ） 泊 日
2 調査研究または 研修の場所	東京都渋谷区 TOTO テクニカルセンターJR 南新宿ビル4F
3 調査研究事項 または研修名	おもてなしトイレセミナー 世界の人々へ日本のおもてなしトイレを！ （訪日外国人6000万人時代に向けて）
4 参加者氏名 （ 3名 ）	増崎俊宏 / 大久保昌代 / 田中千代子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車を使用した場合は、必ず自家用車使用報告書を添付してください



【概 要】

前半1時間は資料等を基に観光地のおもてなしトイレについて説明があり、後半はモデルルームに移りトイレルームや便器について、機能や改善点などについて説明があった。

1. もてなす人を知る ―観光地を訪れる人はどんな人か―

①外国人への配慮…和式トイレの使い方がわからない。

②障害者への配慮…コンビニ、レストランなど中小規模施設は、トイレが狭く車いすが使用できない所が多い。⇒ バリアフリー改修が必要。(※平成29年3月、国土交通省はバリアフリー化を一層進めるため、「高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計基準」を改正した。)

③高齢者への配慮…転倒しやすいため手すりが必要。

④女性への配慮…女子トイレは混雑しやすいため動線の配慮が必要。

⑤子ども連れへの配慮…ベビーチェア・おむつ替え・授乳コーナーの設置。

2. もてなす環境を整える ―観光地を訪れる人たちに喜ばれるトイレとは―

①衛生面…和式トイレの周りの床は菌が多く、菌が繁殖しアンモニアの匂いが発生 ⇒ 自動洗浄機能や汚れが付きにくく清掃しやすい床材、洋式便器の対応が必要。

②維持管理…観光施設のトイレで困った点 … 汚れている・臭い・和式便器が多い・壊されている ⇒ 課題に対応できる洋式トイレの改善が進んでいる。

後半のモデルルームの見学は、衛生面・省エネ対策などの他、障がい者用(車いす)のコンパクトで使いやすい工夫がされた展示品の説明があった。

【感想等】

今回のトイレセミナーは、大型観光地や高速道路のサービスエリアなど大勢の観光客が利用する施設を対象とした説明が多かったが、観光地トイレを利用する人の中から、ターゲット（1の①～⑤）を決めてアンケート調査を実施した調査結果はとても分かりやすく、もてなす人を知るという視点の大切さを学んだ。また、使う人に合わせた配慮はユニバーサルの第一歩との視点からも洋式化の必要性は理解できる。当市は、秋川溪谷に訪れる人々の中に外国人も増え、ハイカーや釣り人などはよく見かけるが、実態を知ってどのようなおもてなしができるかを考え、観光トイレ設置計画の中で生かしていけるのではないかと考える。たとえば、当市の観光地の簡易トイレなどは、和式便器が圧倒的に多いが、衛生面やおもてなしの面からも洋式化の取り組みが必要と思われ、今回のセミナーに参加し、そのことがあらためて認識することができた。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....